

# Asia Indicators

発表日: 2020年4月3日(金)

## 韓国、新型肺炎の影響は今後色濃くなる模様(Asia Weekly(3/30~4/3))

~新型肺炎の世界的流行による世界経済の減速の影響は今後現れると見込まれる~

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
 主席エコノミスト 西濱 徹(Tel:03-5221-4522)

### ○経済指標の振り返り

発表日	指標、イベントなど	結果	コンセンサス	前回
3/31(火)	(韓国)2月鉱工業生産(前年比)	+11.4%	--	▲2.6%
	(中国)3月製造業PMI	52.0	45.0	35.7
	(香港)2月小売売上高(前年比・数量ベース)	▲46.7%	--	▲23.1%
4/1(水)	(韓国)3月輸出(前年比)	▲0.2%	--	+4.3%
	3月輸入(前年比)	▲0.3%	--	+1.5%
	(中国)3月財新製造業PMI	50.1	45.5	40.3
	(インドネシア)3月消費者物価(前年比)	+2.96%	--	+2.98%
4/2(木)	(韓国)3月消費者物価(前年比)	+1.0%	--	+1.1%
4/3(金)	(シンガポール)2月小売売上高(前年比)	▲8.6%	--	▲5.3%

(注) コンセンサスは Bloomberg 及び THOMSON REUTERS 調査。灰色で囲んでいる指標は本レポートで解説を行っています。

### [韓国]~新型肺炎の世界的流行の影響が徐々に現れるなか、今後は一段と色濃くなる可能性が高まる~

31日に発表された2月の鉱工業生産は前年同月比+11.4%となり、前月(同▲2.6%)から2ヶ月ぶりに前年を上回る伸びに転じた。ただし、前月比は▲3.83%と前月(同▲1.35%)から2ヶ月連続で減少しており、中期的な基調も減少傾向に転じるなど頭打ちの様相を強めている。なお、前年比の伸びがプラスに転じた背景には、今年は春節(旧正月)の連休が昨年比べて2週間程度前倒しされており、結果として2月の営業日が前年に比べて多かったことが影響している。新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的大流行を受けて国際商品市況が調整していることを反映して鉱業部門の生産が鈍化したほか、製造業関連の生産にも一段と下押し圧力が掛かるなど、幅広い分野で減産圧力が強まっている。財別では、主力の輸出財である半導体関連の生産には底堅さがみられるものの、電気機械関連や自動車をはじめとする輸送用機器関連の生産鈍化が全体の重石となっており、同国内での新型肺炎流行に伴う外出規制の動きなども影響したと考えられる。平均設備稼働率も70.7%と前月(75.6%)から▲4.9pt低下して丸11年ぶりの低水準となるなど、急速に下押し圧力が強まっている様子がうかがえる。

1日に発表された3月の輸出額は前年同月比▲0.2%となり、前月(同+4.3%)から2ヶ月ぶりに前年を下回る伸びに転じた。ただし、当研究所が試算した季節調整値に基づく前月比は2ヶ月連続で拡大しており、中期的な基調も拡大傾向で推移するなど、同国内でも新型コロナウイルスが流行するなど経済活動への悪影響が懸念されたものの、底堅い動きをみせている。世界的に在宅勤務(テレワーク)の動きが広がりを見せていることを受けてノートパソコンや関連する記憶装置などの需要拡大の動きの

ほか、中国産の石油化学製品に対する代替需要の動きに加え、検査キット関連の需要の高まりも輸出を下支えする一方、中国向けを中心とする自動車や機械関連のほか、素材及び部材関連需要の低迷が重石となる動きが続いている。一方の輸入額は前年同月比▲0.5%となり、前月（同+1.5%）から2ヶ月ぶりに前年を下回る伸びに転じた。前月比は3ヶ月ぶりに拡大に転じているものの、中期的な基調は減少傾向で推移しており、同国内での新型コロナウイルス流行に伴う需要鈍化が重石となる状況が続いている。結果、貿易収支は+50.37億ドルと前月（+39.80億ドル）から黒字幅が拡大している。

2日に発表された3月の消費者物価は前年同月比+1.0%となり、前月（同+1.1%）からわずかに伸びが鈍化した。前月比も▲0.25%と前月（同+0.01%）から4ヶ月ぶりの下落に転じており、生鮮品をはじめとする食料品価格には上昇圧力がくすぶる一方、国際原油市況の暴落とも呼べる下落を背景にエネルギー価格は下落傾向を強めるなど、生活必需品を巡る物価の動きはまちまちの状況にある。なお、食料品とエネルギーを除いたコアインフレ率は前年同月比+0.43%と前月（同+0.51%）から鈍化しており、インフレ率及びコアインフレ率ともに中銀が定めるインフレ目標（2%）を大きく下回る水準に留まっている。前月比も▲0.24%と前月（同+0.14%）から4ヶ月ぶりの下落に転じており、通貨ウォン相場下落に伴う輸入インフレ懸念にも拘らず、外出自粛策に加えてエネルギー価格下落に伴う輸送コストの低下を反映して幅広い財価格に下押し圧力が掛かっているほか、景気減速を受けてサービス物価も下落傾向を強めるなど、全般的にインフレ圧力が後退している様子がうかがえる。

図1 KR 鉱工業生産の推移

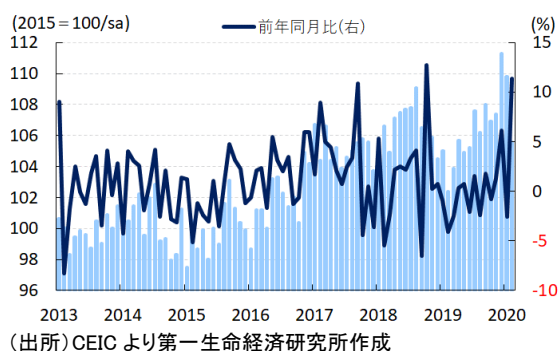


図2 KR 貿易動向の推移

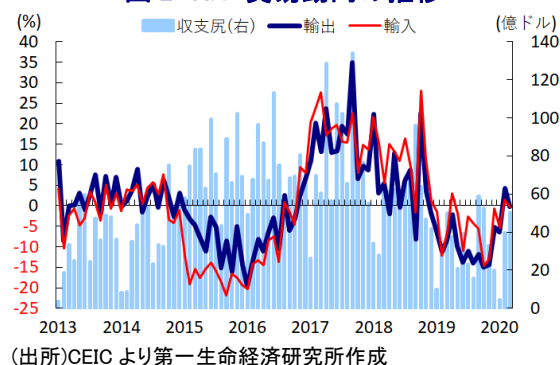
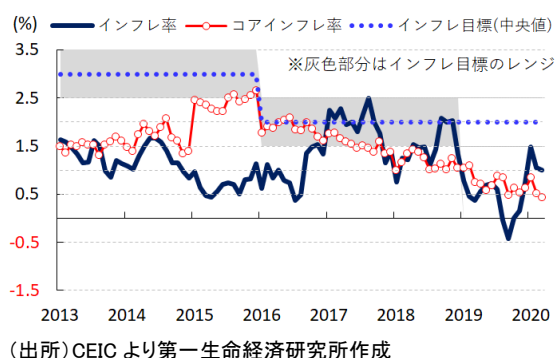


図3 KR インフレ率の推移

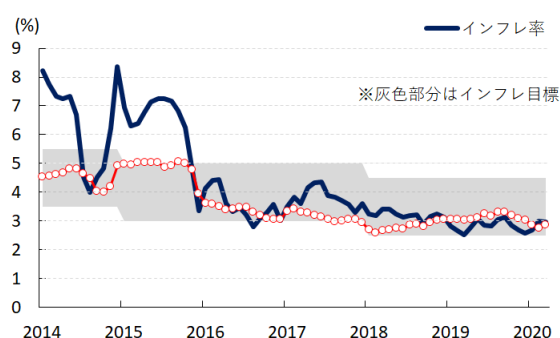


### [インドネシア]～生活必需品の物価下落でインフレ鈍化も、通貨ルピア安による悪影響が顕在化する兆候も～

1日に発表された3月の消費者物価は前年同月比+2.96%となり、前月（同+2.98%）からわずかに

伸びが鈍化した。前月比は+0.10%と前月（同+0.28%）から上昇ペースが一段と鈍化しており、国際原油市況の暴落とも呼べる調整の動きを反映してエネルギー価格が抑えられていることに加え、生鮮品を中心とする食料品価格も上昇の動きが一服するなど、生活必需品の物価上昇圧力が後退していることが影響している。なお、食料品とエネルギーを除いたコアインフレ率は前年同月比+2.87%と前月（同+2.76%）からわずかに加速している。前月比も+0.29%と前月（同+0.14%）から上昇ペースが加速しており、国際金融市場における通貨ルピア相場の下落を受けた輸入インフレ圧力の上振れを反映して消費財価格が押し上げられる一方、景気減速を反映してサービス物価は鈍化傾向を強めるなどスタグフレーション状態に近付きつつあると判断出来る。

図4 ID インフレ率の推移

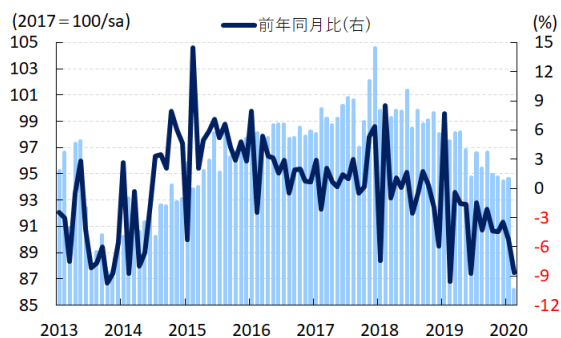


(出所)CEIC より第一生命経済研究所作成

#### [シンガポール]~新型コロナウイルスの流行による来訪者数減に加え、消費意欲の低迷も相俟って小売売上は鈍化~

3日に発表された2月の小売売上高は前年同月比▲8.6%と13ヶ月連続で前年を下回る伸びとなり、前月（同▲5.3%）からマイナス幅も拡大した。前月比も▲8.91%と前月（同+0.22%）から2ヶ月ぶりの減少に転じており、中期的な基調も減少傾向で推移するなど頭打ちが続いている。なお、同国では月ごとの自動車販売の動向が上下に大きく振れやすい上、小売売上高全体の方向性を左右する傾向があるなか、当月の自動車販売は前月比+5.06%と前月（同+4.28%）から3ヶ月連続で拡大するなど底堅い動きがみられた。結果、自動車を除いたベースでは前月比▲11.18%と前月（同▲0.41%）から3ヶ月連続で減少しており、中期的な基調も減少ペースも加速するなど頭打ちの様相を強めている。宝飾品など高額消費や余暇消費など不要不急の消費に軒並み大きく下押し圧力が掛かったことに加え、日用品関連の消費も減少傾向を強めるなど、新型コロナウイルス (COVID-19) の流行による来訪者数の減少に加え、外出手控えの影響で消費活動に下押し圧力が掛かったことも重石になったとみられる。

図5 SG 小売売上高の推移

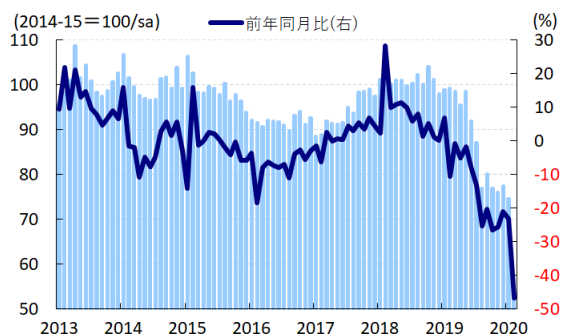


(出所)CEIC より第一生命経済研究所作成

### [香港]～新型肺炎の影響に加え、雇用・所得環境の悪化も重石となり小売売上への下押し圧力が一段と加速～

31日に発表された2月の小売売上高（数量ベース）は前年同月比▲46.7%と13ヶ月連続で前年を下回る伸びとなり、前月（同▲23.1%）からマイナス幅が拡大した。前月比も▲28.02%と前月（同▲3.74%）から2ヶ月連続で減少しており、中期的な基調も減少傾向で推移している上、減少ペースも加速するなど頭打ちの様相を強めている。中国本土での新型コロナウイルス（COVID-19）流行による来訪者数の減少に加え、香港においても消費活動に下押し圧力が掛かるなど悪影響が出ており、雇用・所得環境の悪化による家計部門の消費意欲低迷も相俟って頭打ち感が強まった。食料品をはじめとする生活必需品に対する需要には底堅さがみられる一方、自動車をはじめとする耐久消費財のほか、宝飾品などの高額品に対する需要に軒並み下押し圧力が強まるなど、消費意欲の減退が重石になっている。

図6 HK 小売売上高(数量ベース)の推移



(出所)CEIC より第一生命経済研究所作成

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。